



くらべて発見 やさいの「おなか」

農文協

身近な野菜の断面など外から見えない「おなか」に着目、つくりや働き、栄養分、原産地、一生と栽培などを写真や図で比較しながら、植物の育ち方や巧みさ、命の多様性や共通性、つながりを発見していく絵本(あぶた読書の家所蔵)

読書の家から

あぶた読書の家 (☎ 76-2100)

【時間】 10時～16時30分 【休館日】 木曜日、祝日

みずうみ読書の家(☎ 76-2100 <あぶた読書の家>)

【時間】 9時～17時 【休館日】 木曜日、祝日

洞爺総合センター図書室 (☎ 82-5111)

【時間】 9時～16時30分 【休館日】 なし

新刊案内

■あぶた読書の家

▲一般▽樹林の畏(佐々木譲)▽ワンダーランド急行

(荻原浩)▽たりのる生活(群ようこ)▽罪の境界(葉丸岳)▽

秋雨物語(貴志祐介)▽天下大乱(伊藤潤)▽朽ちゆく庭(伊岡瞬)▽海の教場(吉川英梨)

▽宮繕かるかや怪異譚 その参(小野不由美)▽ミシンと金魚(永井みみ)▽生きる職場

(武藤北斗)▽全国温泉大全湯めぐりをもっと楽しむ極意

(松田忠徳)

▲児童書▽いつつこうさぎとゆきのもり(まつおりかこ)▽かいけつゾロリ きょうりゅうまをすくえ!(原ゆたか)▽図書室の怪談 闇の図書室(緑川聖司著/浮雲宇一絵)▽私立探検家学園1

はじまりの島で(斉藤倫著/桑原太矩絵)▽星屑すぴりつと(林けんじろう)

■洞爺総合センター図書室

▲一般▽真珠とダイヤモ

ンド上・下(桐野夏生)▽荒地

の家族(佐藤厚志)▽しろがね

の葉(千早茜)▽霸王の轍(相

場英雄)▽#真相をお話し

す(結城真一郎)▽ヴィクトリ

アンホテル(下村敦史)▽体は

ゆく できるを科学するハテ

クノロジー×身体▽伊藤亜

紗)

▲児童書▽へんしんコンサ

ート(あきやまだし)▽へ

んしんとびばこ(あきやまた

だし)▽いちばんしあわせな

おくりもの(宮野聡子)▽と

びだすえほん たべるのだあ

れ?(すぎはらけいたろう)▽

とんで やすんで かんが

えて:(五味太郎)▽そらめ

めくんこんにちは(なかやみ

わ)▽ちいさなちいさなうみ

のおさんぽ(さかいさちえ)

絵本の玉手箱 4月のおはなし会

■日時 ①4月15日(土)、24日(月)10時～11時30分

②4月21日(金)14時～15時30分

■場所 ①あぶた母と子の館 ②あぶた読書の家

■問合せ 佐藤(☎ 76-2487)

※マスクの着用は個人の判断でお願いします。

地域おこし協力隊



通信

vol.59

今月の
リポーター
折原英明さん



地

域おこし協力隊の折原です。4月より3年目の活動が始まりました。協力隊としては最終年度となりましたので、また心機一転頑張っていこうと思います。

いどう祭」や、サマーフェスタなどに参加し「外側」の活動もできました。たくさんの方が楽しんでる姿を見ると、イベントやお祭りの力を感しました。

2年間の活動を振り返ると、1年目は新型コロナウイルスの影響も大きく、町内イベントの中止も相次ぐ中、あつくり商品券の販売や新型コロナウイルスワクチンの職域接種など商工会事業のお手伝いを中心に「内側」の業務を行っていました。

先日、西胆振の地域おこし協力隊が集まる「情報交換会」をとうや水の駅で開催しました。それぞれがさまざまな取り組みを通して地域で活動している話を聞き、自分に何ができるか、どういった形で地域貢献できるかなどを考える良い機会となり刺激をもらいました。

2年目はそれまで中止となっていたイベントやお祭りなども再開されたことで、地域活動のお手伝いや町内事業者と関わる機会も増えてきました。札幌ドームで開催された「大はっか

「ホップ・ステップ・ジャンプ」という言葉もあります。この1年さまざまな積み上げをしつつ、退任後も地域と関わりながら定住できるように活動していきます。